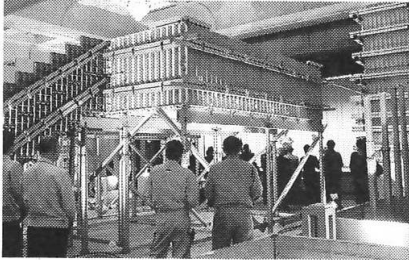


社 報

ガッチの新聞記事

建設通信新聞 様



森本会長

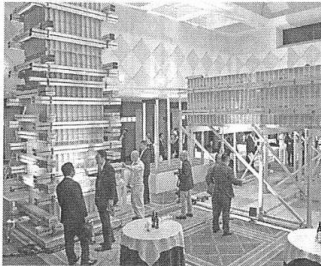
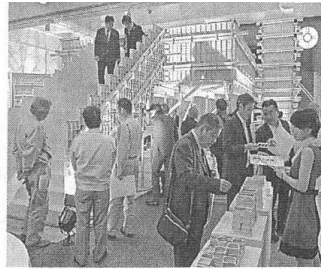
フォービル 新型枠「ガッチ」で展示会 最大40%コストダウン

型枠をつくる。壁・スラブはもちろん、柱・梁にも適用できる。熟練技能が不要なため、従来型枠に比べ大幅なコストダウンが図れ、3次元での入隅・出隅に対応、FRP製の高い耐久性から何度でも転用と熱い思いを述べた。

型枠工事業のフォービル(株)は「ガッチ」の展示説明会を開いた。7日、大阪市都島区の太閤園で、FRP(繊維強化プラスチック)製の組み合わせ型枠の展示説明会を開いた。写真。ゼネコンや専門工事業、設計事務所から約200人が来場し、建設の生産性を改革する新型型枠に注目した。

スラブ型枠

写真左が柱型枠



「ガッチ」の開発に取り組んできた森本隆之会長が自ら開発の経緯や現場使用の効果、従来工法との比較などについてスライドを使って分かりやすく説明した。そして「ガッチ」は生まれたばかりですが、これから成長していく製品。皆様のご助言をいただき、さらに製品を磨き上げていきたい」と前向き姿勢を伺われた。

4月7日 ガッチの展示会には、建設業界新聞各社様にも取材をいただきありがとうございました。

建設産業新聞 様

『ガッチ』の展示会開く

世界初の組立ユニット型枠

フォービル

フォービル(大阪市旭区)は7日、大阪市都島区の太閤園で3次元モジュール化し、大幅な工期短縮とコスト削減を可能にした画期的なブロック式型枠の新製品『ガッチ』の普及拡大に向けて実物による展示会を開催した。

型枠工事業社や元請会社などから多数が来場し、期待の大きさが伺えた。『ガッチ』は型枠を手供のおもちゃのブロックのように組み合わせ、3次元で作り上げる全く新しい発想から誕生した世界初の型枠。3次元で入隅・出隅に対応でき、ラーメン構造のような複雑な形状でも30センチメートルで組み立てができる。型枠寸法を30センチモジュール化したことで、現場での生産性が大幅に向上した。素材に耐久性に優れたFRP(繊維強化プラスチック)を使用、繰り返し転用できる。従来型枠に比べコストも17%削減が可能で、システムとして完成すれば40%のコストダウンを用いた型枠支保工の早期

も可能という。これまでに十数件の現場で使用事例がある。『ガッチ』の部材寸法を30センチ規格化し、オーダーメイドを思わせる品質になったのが成功の秘訣だという。

会場には、約12時間かけて組み立てられた『ガッチ』の「スラブ型枠」「柱型枠」「ラーメン構造型枠」など巨大な実物が展示され、訪れた人たちの注目を集めていた。

また型枠足元の隙間からノロの流出を食い止める「敷ガッチ」(開発中)や手摺端サポート設置金物「手摺ガッチ」なども展示されたほか、アルミ合金製で軽量化を実現した仮設用八角支柱「アルパ」(開発中)やアルミ鋼管角パイプ「Zシリーズ」(有限要素法による数値解析



森本会長

--- 御礼 ---
建設工業新聞 様 日刊建設新聞 様 建通新聞 様

暑い季節がやってきます

今年は春から暑い日が多く、夏には記録的な猛暑を迎えるのではないかと予想されています。

建設業は屋外労働ですので、夏の暑さは、まさに我々の天敵のようなものです。今年入社された新入社員にとっては、大変な夏となりそうです。熱中症対策はいろいろありま

すが、一番大事なことは、各自の健康管理です。睡眠を十分に体調を整えて、日々の仕事に備えることが大事です。空調服も有効ですので、しっかりと装備してください。

それでも気分が悪くなった時には、すぐに病院で治療を受けてください。今月も災害がありませんように！(拝)

2017年 安全成績

■現場災害 H29.1.1-H29.6.5

休業災害	----	0
不休災害	----	0
物損災害	----	0
その他	----	0
合計	----	0

■交通災害 H29.1.1-H29.6.5

人身災害	----	0
物損災害	----	1
合計	----	1